



おにぎり通信

2017年6月24日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

「なんでも総合相談会」のお知らせ

6月26日(月) 午前9時30分～11時に「なんでも総合相談会」がカトリック麹町聖イグナチオ教会のヨセフホールで開催されます。従来は四ツ谷の司法書士会館で開かれていた弁護士・司法書士による相談会です。イグナチオ教会は各線四ツ谷駅から徒歩5分です。ヨセフホールの場所は、入り口右手にある売店で尋ねてください。この日はカレーの会による炊き出しもおこなわれています。

〈6月12日 福祉行動報告〉

どなたも参加されませんでした。

次回の福祉行動：6月26日(月) 東京駅丸の内南口地下に朝8時30分

までに集合してください。蒸気機関車の車輪が展示してある前に「おにぎり

通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。病院に行き

たい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」まで、ボランティアが同行

いたします。福祉行動は毎週月曜日です(月曜日が祝日のときは火曜日)。福祉

行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと

伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

「ドレミの歌」を聞いたことがありますか。子供のころから何も考えずに歌ってきた「ドはどーなつのド、レはレモンのレ」という歌でした。今日、6月24日は「ドレミの日」と言われます。

ところで「ドレミファソラシド」の音階ができたのは、西暦1024年イタリアだそうです。「ドレミ」とは、そもそもイタリア語なんです。

1024年6月24日に修道士グィード・ダレッツオが、楽譜で楽曲を記録する方法を考え出しました。修道士といっても音楽教師のような役割だったそうです。6月24日といえば、「聖ヨハネの日」でもあります。聖ヨハネは、聖書に出てくるキリストの弟子の一人で、キリストに一番可愛がられた若い弟子でした。

その祝日に、ダレッツオが指導し、最初の音から1音ずつ上がっていく「ヨハネ賛歌」が歌われました。「ドレミの日」とはこの日を記念しているのです。

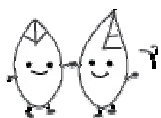
でも、この「ドレミファソラシド」は、どこからきてるの？ そんな疑問も出てきますよね。現在の「ドレミ」の元の呼び方は、「u t (ウト) r e (レ) m i (ミ) f a (ファ) s o l (ソ) l a (ラ)」なんだそうです。

これは、ヨハネ賛歌の歌詞からつけられたそうです。この元になった歌詞は、8世紀後半頃、僧パウルス・ディアコーヌスによって書かれたものです。歌詞を紹介します。

「Ut queant laxis resonare fibris Mira gestorum famuli tuorum, Solve polluti labii reatum, Sancte Ioannes.」

この歌詞から音の名前をつけたのです。歌詞がまったくわからないので、訳したのを載せると……
「汝のしもべが、弦をかきなでて、汝の妙なるわざをたたえ得るように、このけがれある唇の罪をのぞかせたまえ、聖ヨハネよ。」という意味のようです。訳しても難しいですが、聖なるイメージはかなり伝わってきます。

せっかくだから、6月24日の「ドレミの日」には、知っている歌を歌ってみてはいかがですか。(わたしは、こどもの賛美歌で「主われを愛す」が好きです。たくさんいい歌があります。近くの教会へ行って教わってみてはいかがでしょう。)



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535